

令和5年度全建賞 推薦調書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

ふりがな	しゅようちほうどう とやまたてやまこうえんせん ふりゆうおおはしよんしゃせんかじぎょう	
1. 事業(施策)の名称	主要地方道富山立山公園線 富立大橋4車線化事業	
2. 事業(施策)実施期間	平成27年4月 ~ 令和6年3月	
3. 事業費(工事費)	4,700 百万円	
4. キーワード	地域交通の円滑化	
5. 事業概要	1級河川常願寺川に架かる富立大橋(平成17年3月 暫定2車線供用開始)について、交通混雑を緩和し、地域全体における交通円滑化を図ることを目的とした4車線化事業	
6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(a)3Dモデル(BIM/CIM)やAR技術の活用 (b)既往技術の創意工夫、活用 (d)Youtube等を活用した土木事業のPRやイメージアップ (d)デジタル技術を活用した地元住民等への情報提供	
アピールする 2)「秀でた成果」	(a)地域全体における交通の円滑化 (f)沿道開発等による地域の活性化 (k)デジタル技術を活用した工事の効率化等 (k)地元住民へのより理解しやすい情報提供	
7. 特にアピールしたい点		
<p>【地域全体における交通の円滑化】 常願寺川に架かる富立大橋(暫定2車線)を4車線化整備することで、橋詰交差点における朝夕の通勤時間帯における交通渋滞を緩和するとともに、富立大橋の上下流に架かる2橋(常盤橋、大日橋)の混雑を緩和することで、地域全体における交通の円滑化に寄与することが期待される。</p> <p>【沿道開発等による地域の活性化】 富立大橋4車線化整備によって、地域全体における交通の円滑化が図られ、地域の利便性等が向上することで、沿線地域における企業団地への工場等の進出や商業施設の出店が見込まれるなど、沿線地域の利便性向上と地域の活性化に寄与することが期待される。</p> <p>【デジタル技術を活用した工事の効率化や地元住民へのより理解しやすい情報提供】 BIM/CIMによる3DモデルやAR技術を活用することで、工事の効率化や安全性の向上を図るとともに、地元住民等へのより理解しやすい情報提供を行った。さらに県の公式Youtubeチャンネルで工事施工状況やデジタル技術の活用について投稿し、土木事業のPRやイメージアップを図った。</p>		

8. 事業を代表する写真及びキャプション



富立大橋 4車線化後のイメージ図



富立大橋 桁架設状況(令和5年1月)

9. 事業内容・添付資料

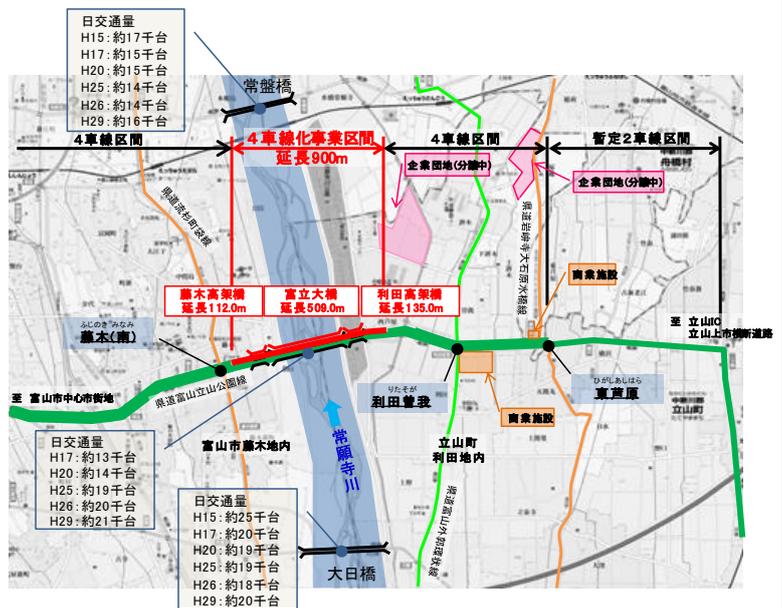
【事業概要】

主要地方道富山立山公園線は、富山県の中心都市である富山市と立山町を結び、第2次緊急輸送道路にも指定されている重要な幹線道路である。

1級河川常願寺川に架かる富立大橋は、平成17年3月に暫定2車線(幅員11.0m)で供用を開始したが、年々自動車交通量が増加し、橋詰交差点では朝夕の通勤時間帯に交通渋滞が発生していた。また、上下流の橋梁2橋(大日橋、常盤橋)の自動車交通量は、富立大橋の暫定供用後に減少したものの、依然として交通量は多く、近年は増加傾向にありました。このため、平成27年度から富立大橋の4車線化に着手した。

令和2年度までに左右岸取り付け部の藤木高架橋、利田高架橋が完成しており、令和5年度に富立大橋のⅡ期線(下流側)が完成することで、左右岸の橋詰交差点間が全線4車線化される予定である。この4車線化により、交通渋滞が緩和され、地域全体における交通の円滑化が図られることで周辺地域のさらなる発展が期待される。

●周辺図、位置図



橋詰交差点の渋滞状況
(左岸側 藤木南交差点)



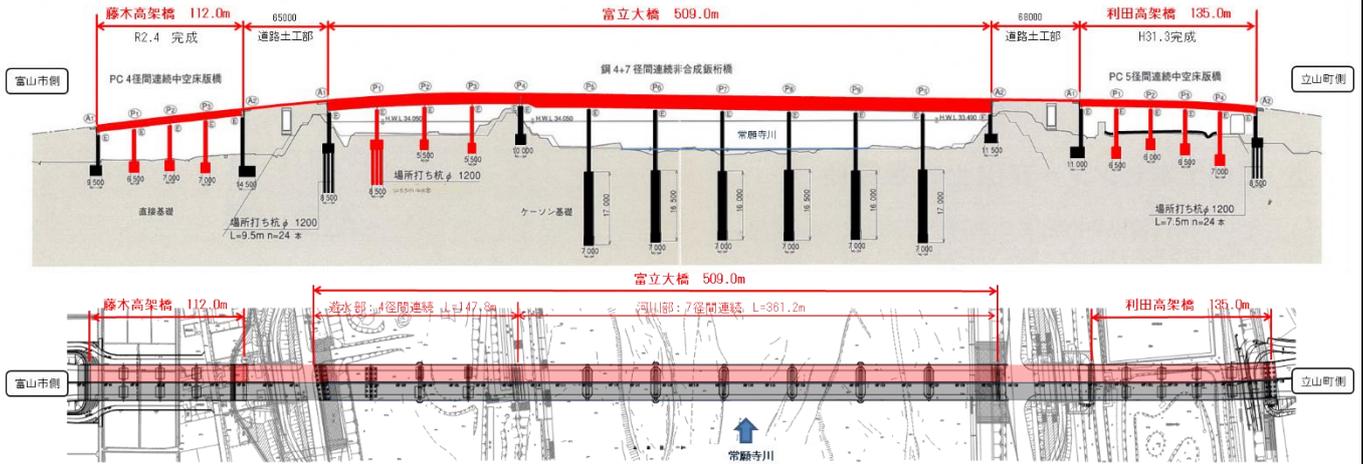
上流側橋梁の混雑状況
(大日橋)



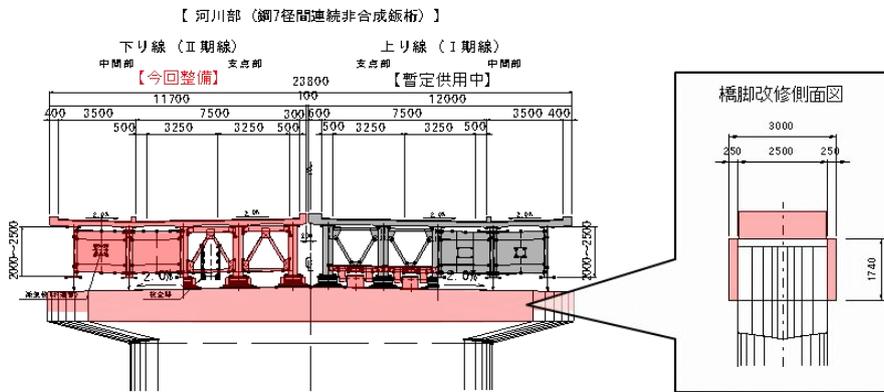
下流側橋梁の混雑状況
(常盤橋)

9. 事業内容・添付資料

●側面図、平面図



●断面図



【デジタル技術を活用した工事の効率化や地元住民へのより理解しやすい情報提供】

BIM/CIMによる3DモデルやAR(拡張現実)を活用し、構造物のイメージを明確化、施工計画の見える化を行うことで、工事の効率化や安全性の向上を図るとともに、関係者協議における合意形成の迅速化や地元住民等へのより理解しやすい情報提供に努めた。

また、複数のデジタル技術を活用し整備する大規模事業として、県の公式 Youtube チャンネルで投稿することで、多くの県民に情報発信し、土木事業のPRやイメージアップを図った。



STEP2(右岸側架設ヤード設置)



STEP4(床版打設)



STEP6(中央部桁架設)

地元説明会で CIM データを写真に重ねた画像を使用して工事工程を説明

9. 事業内容・添付資料



県の公式 Youtube チャンネルへの投稿
(Facebook や X も活用)

